

SP2パワーコイルキット装着方法 (DAX ST125)

- 1、スロットルボディカバー及びスロットルケーブルA、Bを取外す。
(ノーマル部品脱着についてはメーカーサービスマニュアルを参照)
- 2、ノーマルイグニッションコイル及びコイルブラケットを取外す。(写真1)
- 3、ノーマルプラグキャップをプラグコードより取外す。
(キャップとコードを反時計回りに回す)
- 4、ハーネスバンドクリップを付属の丸穴用と交換する。
- 5、付属のアンブラケットを付属の高ボルトで装着する。(写真2) 仮締
- 6、潤滑スプレー等を使用してプラグコードにブーツを被せSP IIコイルに取付ける。
(パワーコイルキット取扱説明書8ページ参照) (写真3)
- 7、付属のボルト、スペーサを使用してSP2パワーコイルを装着する。(写真4)
- 8、SP2パワーコイルを付属の両面テープ及びタイラップで固定する。(写真5)
- 9、SP2ワイヤハーネスの各コネクタを接続する。(各写真及び図1配線図参照)
(アース端子はバッテリーマイナス端子に接続)
- 10、スロットルボディカバー及びスロットルケーブルA、Bを取付ける。
- 11、SP2プラグコードの長さを合わせて切断する。
- 12、SP2プラグコードにノーマルプラグキャップを取付ける。(時計回りにねじ込む)

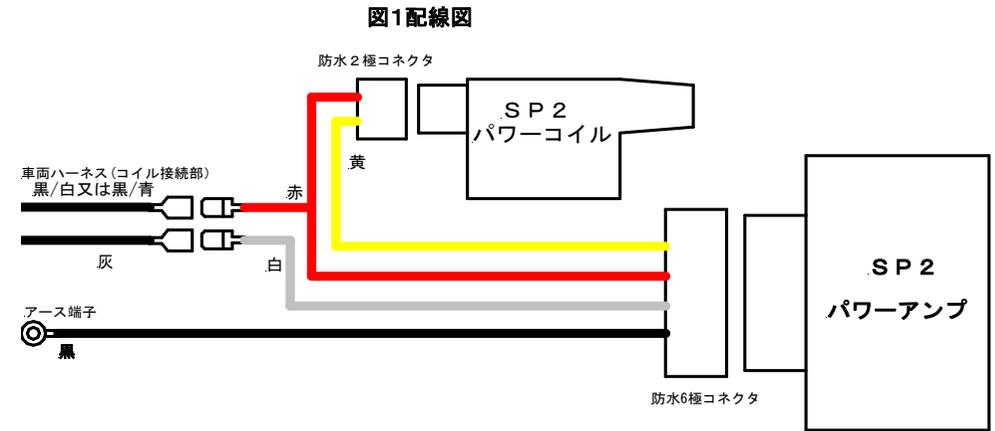
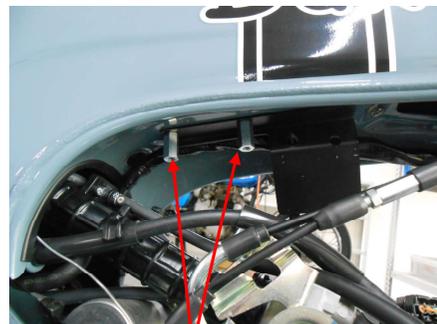


写真1



写真2



仮締

写真3



写真4 コイル取付ボルト仮締後本締する



5×10スペーサを入れコイル取付ボルトを仮締し高ボルト締め付け後本締める

写真5

防水6極コネクタ(アンプ取付前に接続)



写真6

防水2極コネクタ 車両コイル端子



写真7

SP2アース端子



写真8(完成)



注、SP2パワーコイルキットを装着すると、DTCチェックランプが点灯したままになりますが走行に支障はありません。SP2チェックキャンセラー(1コイル用)02659を併用すれば消灯できます。